

下水汚泥から効率的にリンを回収する技術が 国土交通省のB-DASHプロジェクトに採択されました

国土交通省の下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）^{※1}において、横浜市がJFEエンジニアリング株式会社と共同で応募した下記の事業が採択されました。

1. 事業概要 : MAP^{※2}により脱水ろ液^{※3}から効率的にリンを回収する技術を導入し、設計、設置及び運転に係るコストやエネルギー使用量の把握ならびに削減方策などについて調査・検討・実証を行います。
2. 事業実施者 : JFEエンジニアリング株式会社・横浜市環境創造局 共同研究体
3. 事業場所 : 横浜市環境創造局北部汚泥資源化センター
横浜市鶴見区末広町1丁目6番地の1
4. 事業期間 : 令和5年4月から令和6年3月まで（予定）
5. 参考 : 国土交通省ホームページ
下水汚泥資源の肥料利用促進に向けて技術実証に取り組みます
～B-DASHプロジェクトに4技術を新たに採択～
https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000521.html



※1 下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト：Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project）とは、新技術の研究開発及び実用化を加速することにより、下水道事業におけるコスト縮減や再生可能エネルギー創出等を実現し、併せて、本邦企業による水ビジネスの海外展開を支援するため、国土交通省が実施しているもの。

※2 MAP：リン酸マグネシウムアンモニウム。下水汚泥の脱水ろ液に含まれるリン酸及びアンモニア性窒素と、添加する水酸化マグネシウムを反応させることにより、肥料原料として利用可能な結晶化したMAPを回収する。

※3 脱水ろ液：横浜市の下水汚泥処理フロー（濃縮→消化→脱水→焼却または燃料化）のうち、脱水工程では、汚泥の濃度を高めるために液体分を分離する。この分離された液体分を脱水ろ液といい、リンの濃度が比較的高い。

お問合せ先

環境創造局下水道設備課長

芦澤 謙司 Tel 045-671-2816